

# まちがいさがし クイズ



左右の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてください。

とうふねこ座：市川雅子 画

### 応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(右の絵に○をつける)・②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり11月号に掲載しますので、ご了承ください。

### 送り先

〒443-8601 旭町17番1号  
企画広報課「クイズ」係  
FAX66♦1190

### 応募締切

9月18日(火)

### プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は11月初旬に郵送します。



### 「観音様の涙」(大塚町)

明治45年、この年は御堂山観音堂の本開帳です。この5日間、観音様を熱心に信心している一人のお婆さんは毎日うれしそうに参道を歩いています。

「南無阿弥陀仏ナムナムナム、ありがたや、ありがたや…南無南無」

お婆さんのほかに幾人かの人が観音様を拜みに山を登って行きます。日が傾き、参拝者がいなくなってもお婆さんだけはまだ拜んでいます。

「お婆さん、もう扉開めるから暗くなる前にはよ帰りな」

係の人が扉を開めようとしてもお婆さんは涙を流して手を合わせ動こうとしません。

「ああ…次にこの扉が開くまで観音様に会うことはかなわん。私の寿命があとどれくらい持つかわからんけど、次の御開帳の時まで生きとれんたらなあ。あともうちよつと、もうちよつとだけ待ってくれん」

「うーん、いや、だめだめ、定めは定めた。もう開めるよ」

係の人は同情しつつも心を鬼にして扉を開けて錠前をかけ、その年の御開帳を終えました。

それから16年後、大正14年の中開帳の日。係の者がお堂の扉を開けて驚きました。

「なんと…奇妙な！」

観音様のお顔に涙を流された痕があります。右は頬まで、左は鼻の先まではつきりと見えるのです。

「これはあのお婆さんに観音様が同情して涙を流されたに違いない」

観音様の涙にびっくりした村の人が話し合い、これ以降縁日の18日に扉を開き、直に観音様に参拝できるようにしました。

地元の人、

「かくよかでおだやかなお顔の観音様にお祈りしていると、涙を流して聞いてくださっているような不思議な気持ちになる」とか、

「うちの観音様は木目が美しい八頭身美人だよ」と大事にお祀りしています。

現在、観音様は県指定文化財になり、隣の収蔵庫に入っています。毎年縁日の4月18日と、元日に御開帳されています。なお、この観音様の涙の痕は昭和34年大修理の際消されたそうです。

昭和31年相楽山荘までの車道が開通しました。昔の参道(御堂山街道)は今も草生して誰も通る人はいなくなりました。

### ◆7月号の答え

7月号クイズまちがいさがし(チャラボコ)の当選者  
応募総数65通  
正解者33人

当選者 敬称略・50音順

神ノ郷町 芦塚硬規  
竹谷町 石川佳敬  
西浦町 酒井四郎  
新井町 杉浦美登利  
三谷町 鈴木絵理  
三谷町 竹内信夫  
三谷町 藤田理栄  
本町 藤原とみ  
西浦町 牧三四郎  
形原町 丸山康徳

おめでとーございます。賞品は9月初旬に発送します。

